

株式会社アドバンスクリエイト 平成28年9月期第3四半期 業績説明資料

(平成27年10月～平成28年6月)



平成28年8月10日



本誌取扱上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。

従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

目次

<u>I. 平成28年9月期第3四半期の状況</u>	4
■ 決算概要	5
■ 営業管理データ	8
<u>II. 当社の戦略について</u>	15
■ はじめに	16
■ ビジネスモデル	18
■ マーケティング戦略	21
■ 投資戦略	23
■ 管理体制	24
■ 資本政策	26
■ 総括	27

I . 平成28年9月期第3四半期の状況

平成28年9月期第3四半期 決算ハイライト

連結業績

売上高は、**5,420百万円**となり、前年同期比170百万円の減収
営業利益は、**685百万円**となり、前年同期比248百万円の減益
経常利益は、**663百万円**となり、前年同期比270百万円の減益
四半期純利益は、**398百万円**となり、前年同期比110百万円の減益

配当については、第2四半期・期末ともに1株当たり22円50銭、年間合計1株当たり45円00銭の配当を実施予定です。

平成28年9月期第3四半期 損益計算書（連結）

(単位:百万円)	平成27年9月期 第3四半期	構成比(%)	平成28年9月期 第3四半期	構成比(%)	前期比 増減率(%)
売上高	5,591	100.0	5,420	100.0	▲ 3.1
保険代理店事業	5,114	91.5	4,770	88.0	▲ 6.7
メディア事業	272	4.9	698	12.9	156.1
再保険事業	408	7.3	474	8.8	16.3
全社消去	▲ 204	▲ 3.7	▲ 523	▲ 9.7	—
売上原価	1,115	20.0	1,101	20.3	▲ 1.3
売上総利益	4,475	80.0	4,319	79.7	▲ 3.5
営業費用	3,541	63.3	3,633	67.0	2.6
営業利益	933	16.7	685	12.6	▲ 26.6
保険代理店事業	833	14.9	441	8.1	▲ 47.0
メディア事業	59	1.1	169	3.1	186.3
再保険事業	39	0.7	73	1.3	84.8
経常利益	934	16.7	663	12.2	▲ 29.0
四半期純利益	509	9.1	398	7.4	▲ 21.7
一株当たり四半期純利益(円)	46.83		37.03		

※当第3四半期より、セグメント上において広告代理店事業をメディア事業に名称変更しております。

- 第3四半期における売上の状況は、第2四半期に引き続き、主要保険商品の代理店手数料率の低下や、マイナス金利等の影響による学資・年金保険等貯蓄性商品の販売停止などにより保険代理店事業においては軟調に推移しました。メディア事業においてはWEBサイト「保険市場(ほけんいちば)」の媒体価値向上に伴いメディア関連収入が大幅な増収となり、また、再保険事業も引き続き好調に推移しました。しかしながら保険代理店事業のマイナスをカバーできず前期比で3.1%の減収となりました。
- 利益面では、メディア事業及び再保険事業において大幅な増益となったものの、保険代理店事業においては、上記減収に加え、人件費等営業費用の増加に伴い、連結では減益となりました。

平成28年9月期第3四半期 貸借対照表（連結）

(単位:百万円)	平成27年9月期末	平成28年9月期 第3四半期末	増減
流動資産	4,177	3,535	▲ 641
現預金	1,667	1,235	▲ 431
売掛金	1,494	729	▲ 764
未収入金	545	993	447
その他	469	576	107
固定資産	3,181	3,547	366
有形固定資産	572	685	113
無形固定資産	587	801	214
投資その他の資産	2,021	2,059	38
繰延資産	2	0	▲ 1
資産合計	7,361	7,084	▲ 277

(単位:百万円)	平成27年9月期末	平成28年9月期 第3四半期末	増減
流動負債	1,768	1,953	184
短期有利子負債	358	369	10
その他	1,410	1,583	173
固定負債	781	759	▲ 22
長期有利子負債	403	285	▲ 118
その他	377	474	96
負債合計	2,550	2,712	162
資本金	2,915	2,915	-
資本剰余金	352	352	-
利益剰余金	1,473	1,379	▲ 94
自己株式	▲ 14	▲ 363	▲ 349
その他	83	88	4
純資産合計	4,810	4,371	▲ 439
負債及び純資産合計	7,361	7,084	▲ 277

【資産】

資産合計は、前期末比で277百万円減少しております。

主な減少要因は、売掛金の回収による減少(764百万円)、期末・第2四半期の配当及び自己株式の取得並びに法人税等の納付に伴う現預金の減少(431百万円)によるものです。

【負債及び純資産】

負債合計は、前期末比で162百万円増加しております。

これは、社債の償還により有利子負債は減少したものの、経費の増加に伴い未払金が増加したことによるものです。

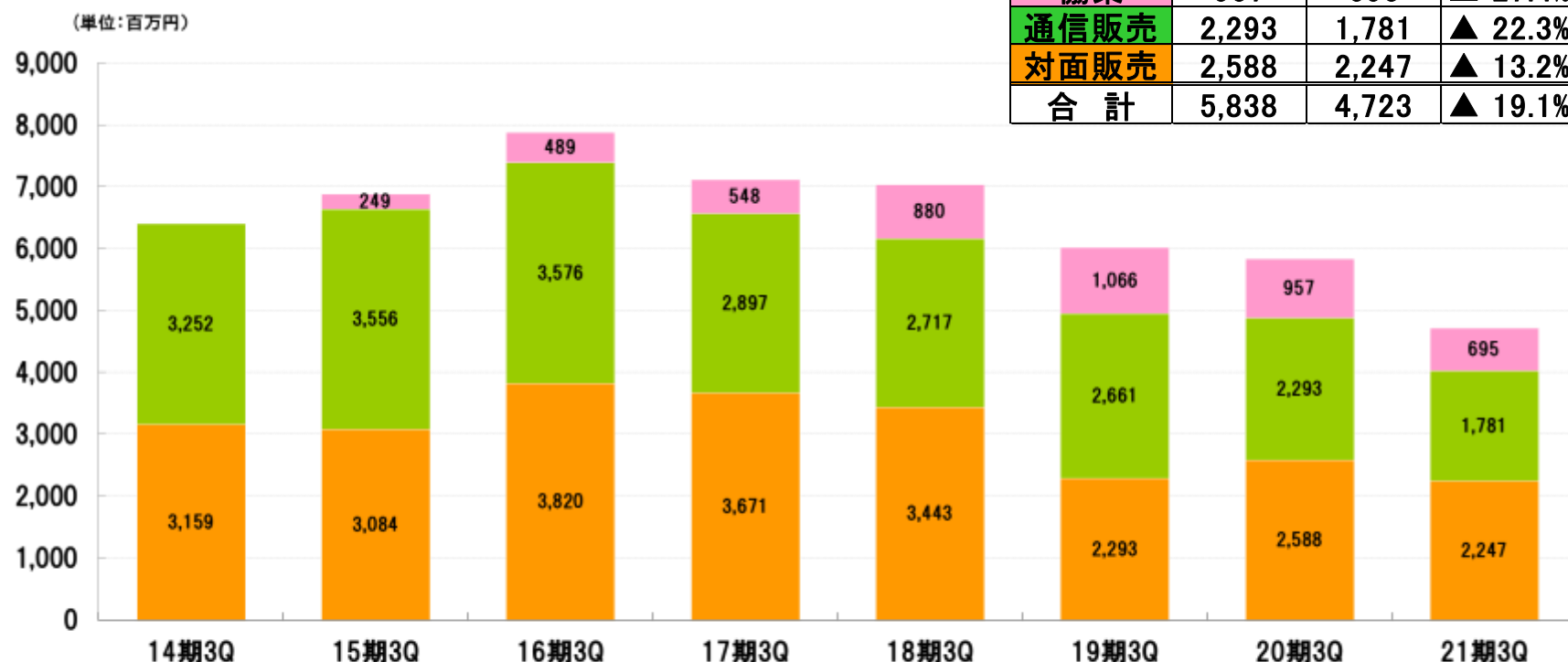
純資産合計は、前期末比で439百万円減少しております。

これは、当期純利益の計上により増加したものの、期末・第2四半期の配当金支払い(493百万円)及び株式給付信託導入等に伴う自己株式の増加(349百万円)により純資産が減少したことによるものです。

チャネル別申込ANPの推移

貯蓄性商品の販売減少等により、前年同期比**19.1%減**

	20期3Q	21期3Q	前年同期比
協業	957	695	▲ 27.4%
通信販売	2,293	1,781	▲ 22.3%
対面販売	2,588	2,247	▲ 13.2%
合計	5,838	4,723	▲ 19.1%



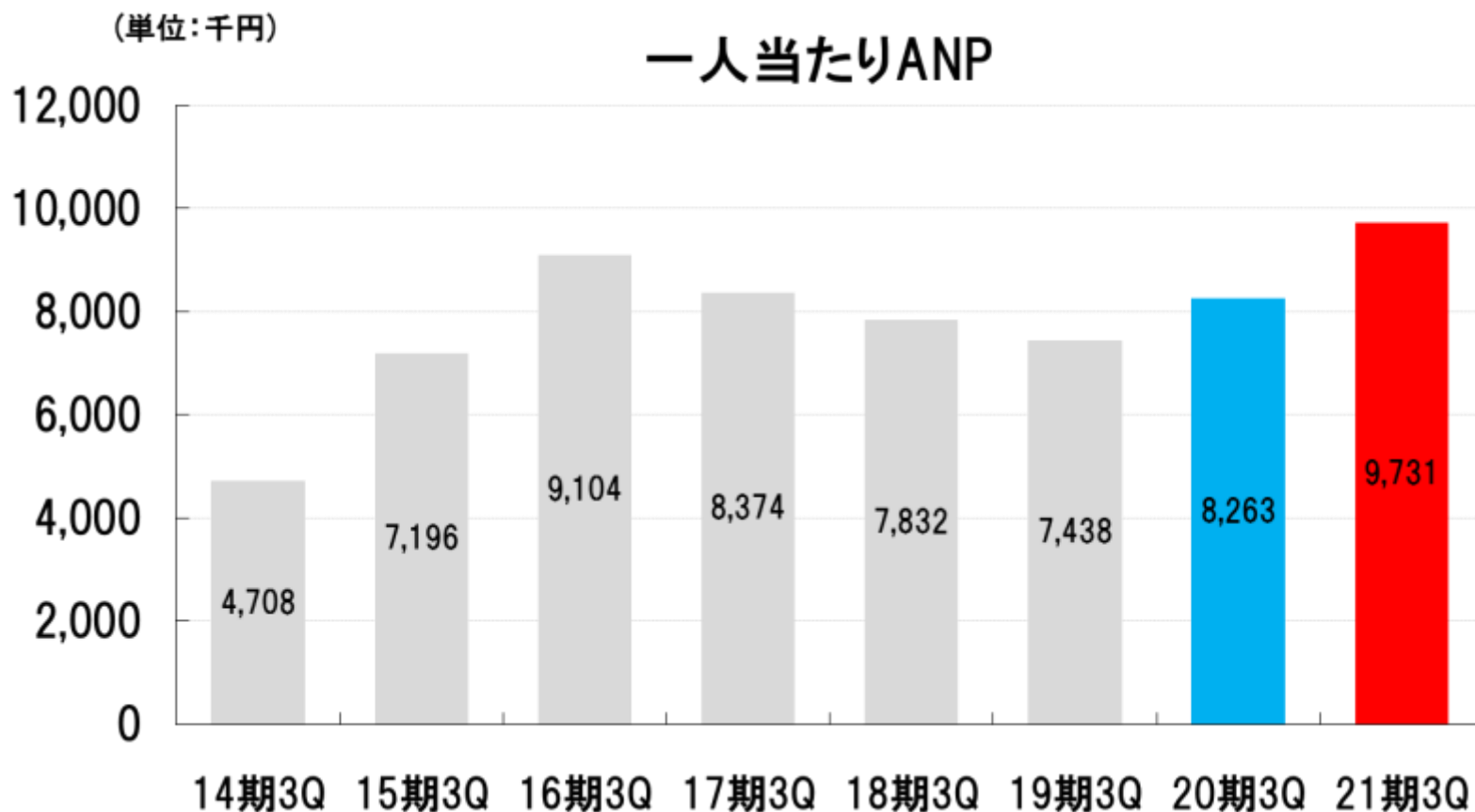
※ANPとは新契約年換算保険料の意味で、月払い保険料5,000円の場合、ANPIは60,000円となります。

※当社グループの収益は、新規申込ANPベースでの収入の他、既存の保有契約ストックから得られる保険代理店手数料収入や、メディア関連収入、再保険事業収入等で構成されております。

※直近四半期については速報値ベースで記載しております。

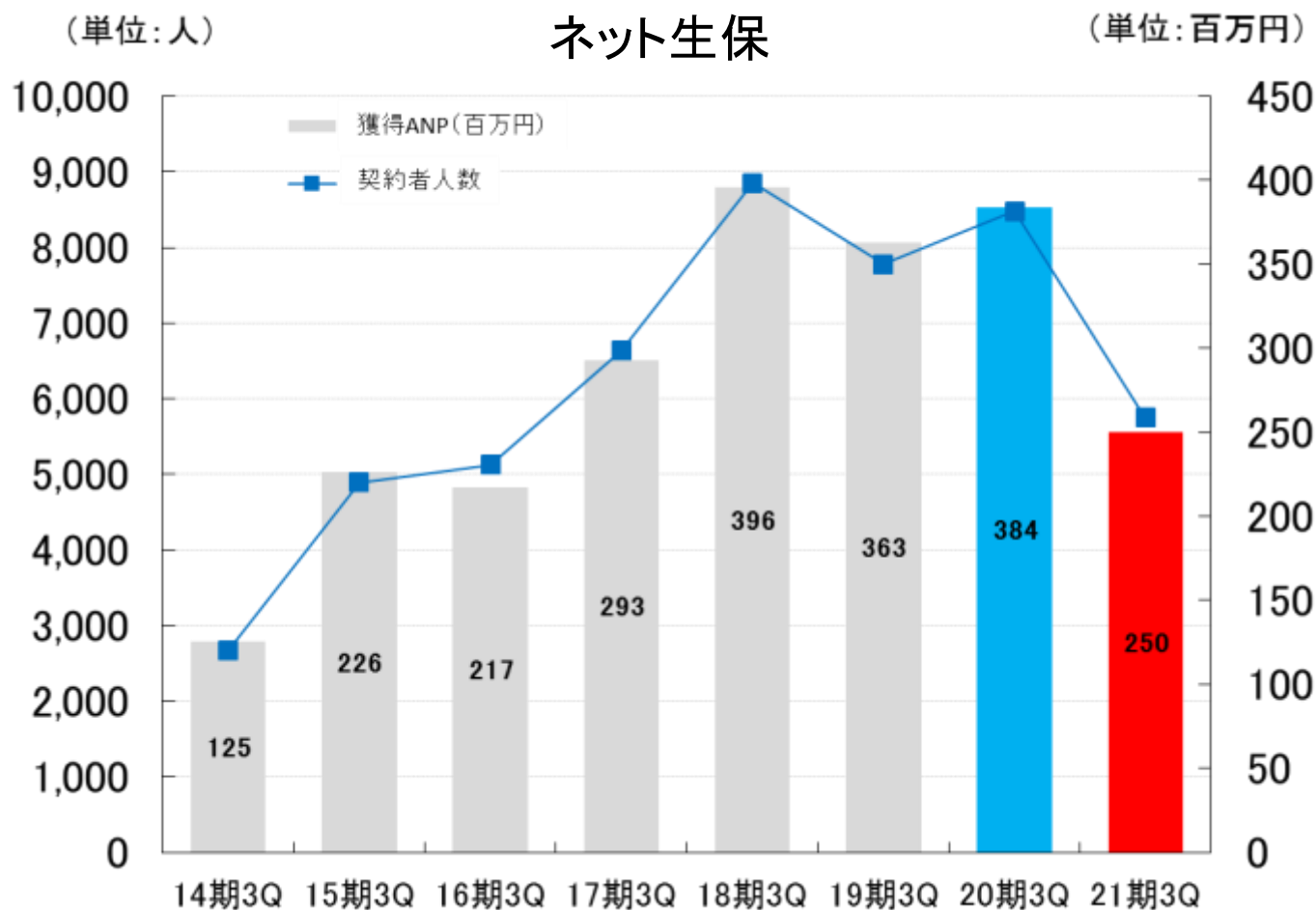
対面一人当たりANPの推移<四半期対比(3ヶ月)>

マイナス金利の影響により貯蓄性商品の販売が伸び悩む中、
一人当たりANPにおいては前年同期比**17.8%増**



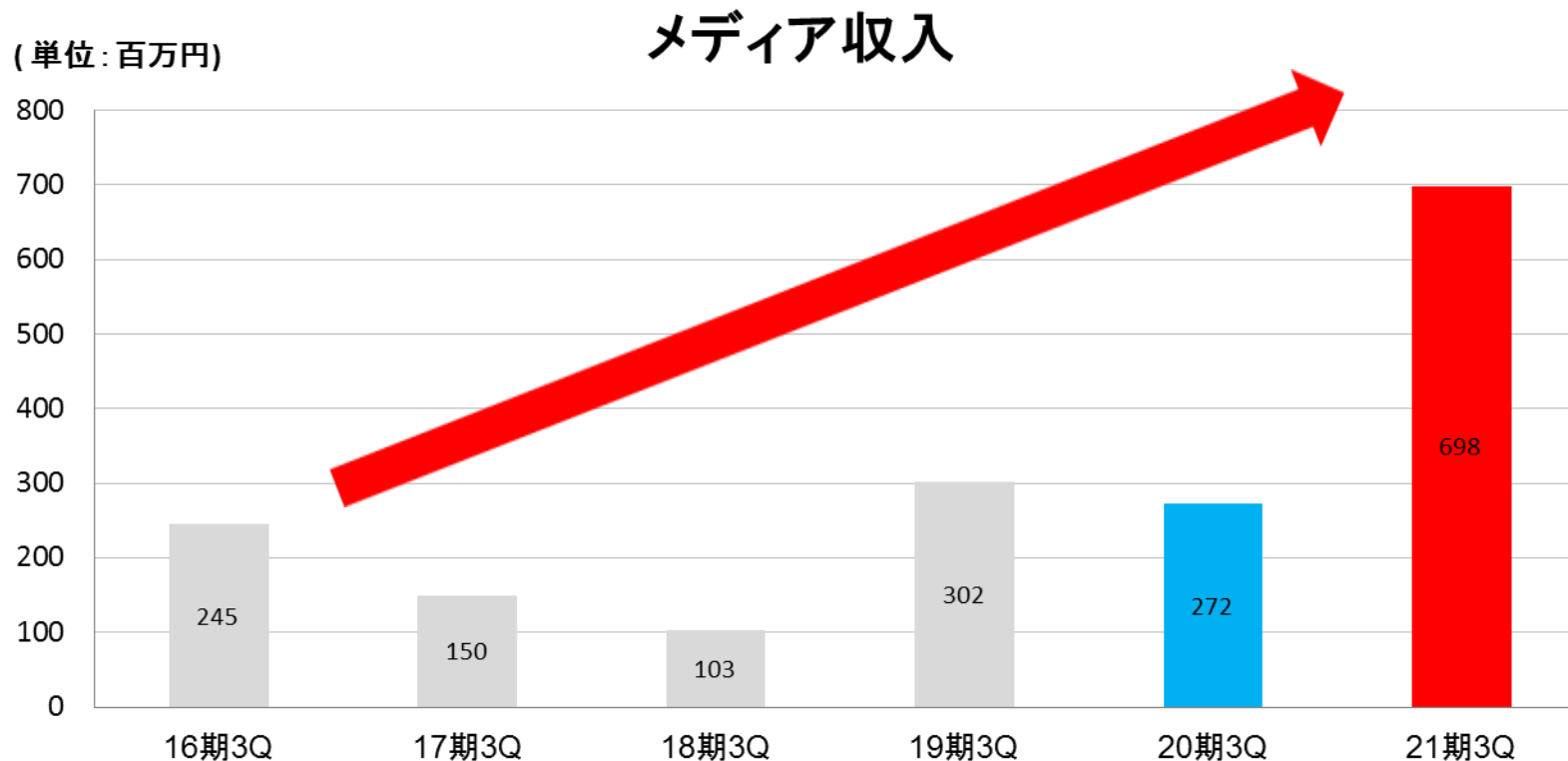
ネット生保ANPの推移

資料請求型プロモーション及びメディア関連ビジネスに傾注した結果
前年同期比**34.9%減**



メディア収入推移

WEBサイト「保険市場(ほけんいちば)」の価値向上に伴い
前年同期比**156.1%増**

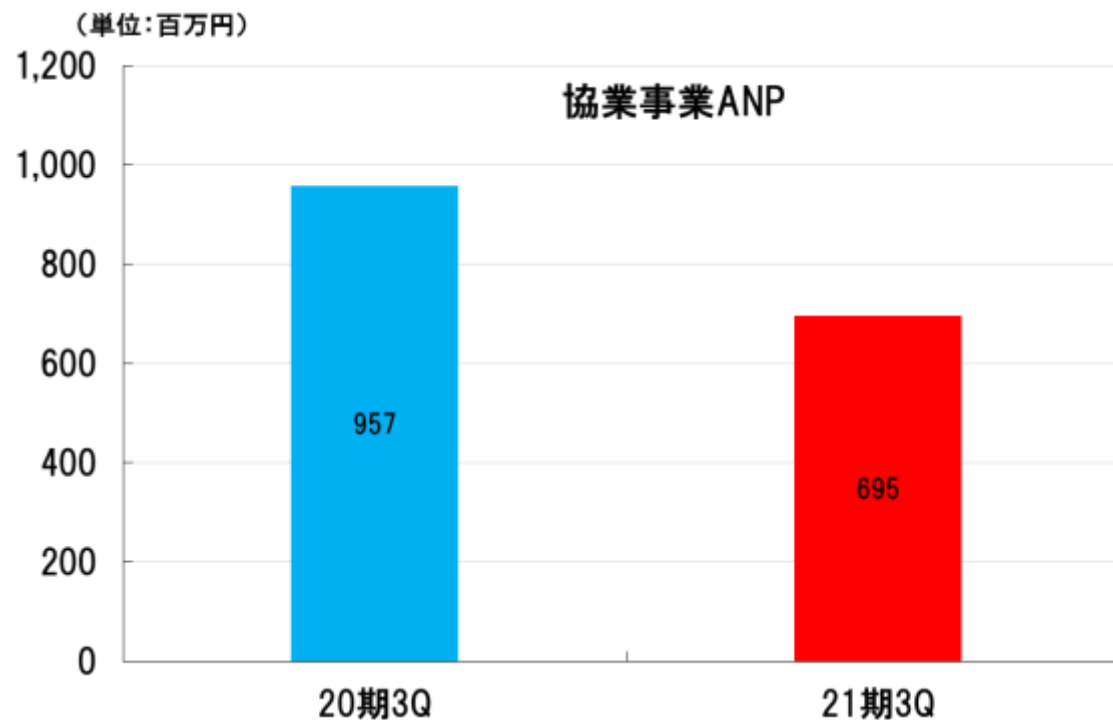


協業ANPの推移

管理体制強化のため提携先の集約化を図り、提携社数は28社減少
 協業においても貯蓄性商品の販売減少が影響し、前年同期比**27.3%減**

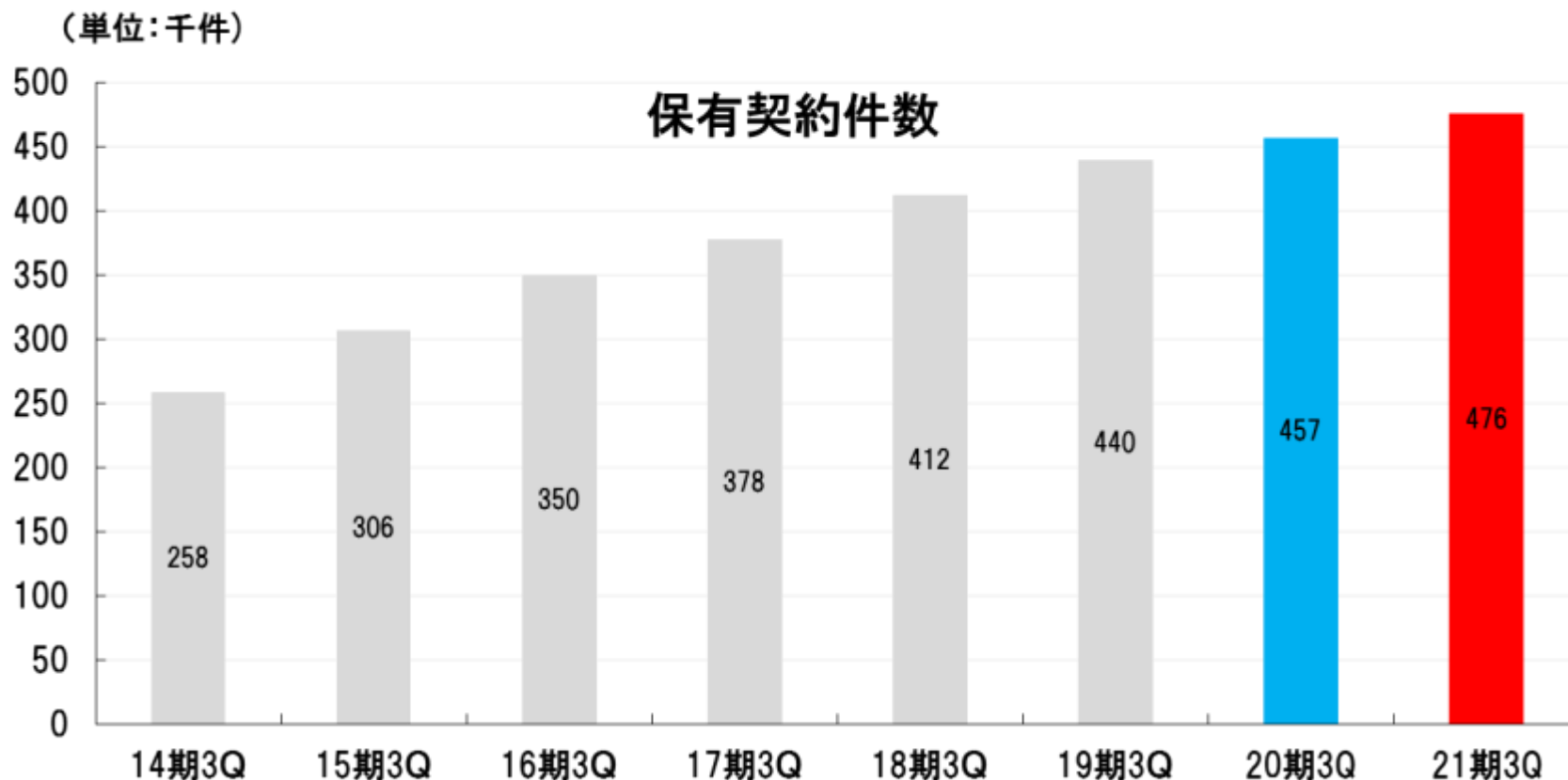
- ショップ・テレマーケティング・訪問 多様な協業チャネルにより全国展開
- お客様に対し、最適なコンタクトポイントの提供

【提携代理店 147社 提携店舗 302店 提携稼動募集人 約51千人】※平成28年6月30日現在
 (前第3四半期における提携代理店社数 175社)



保険契約件数の推移

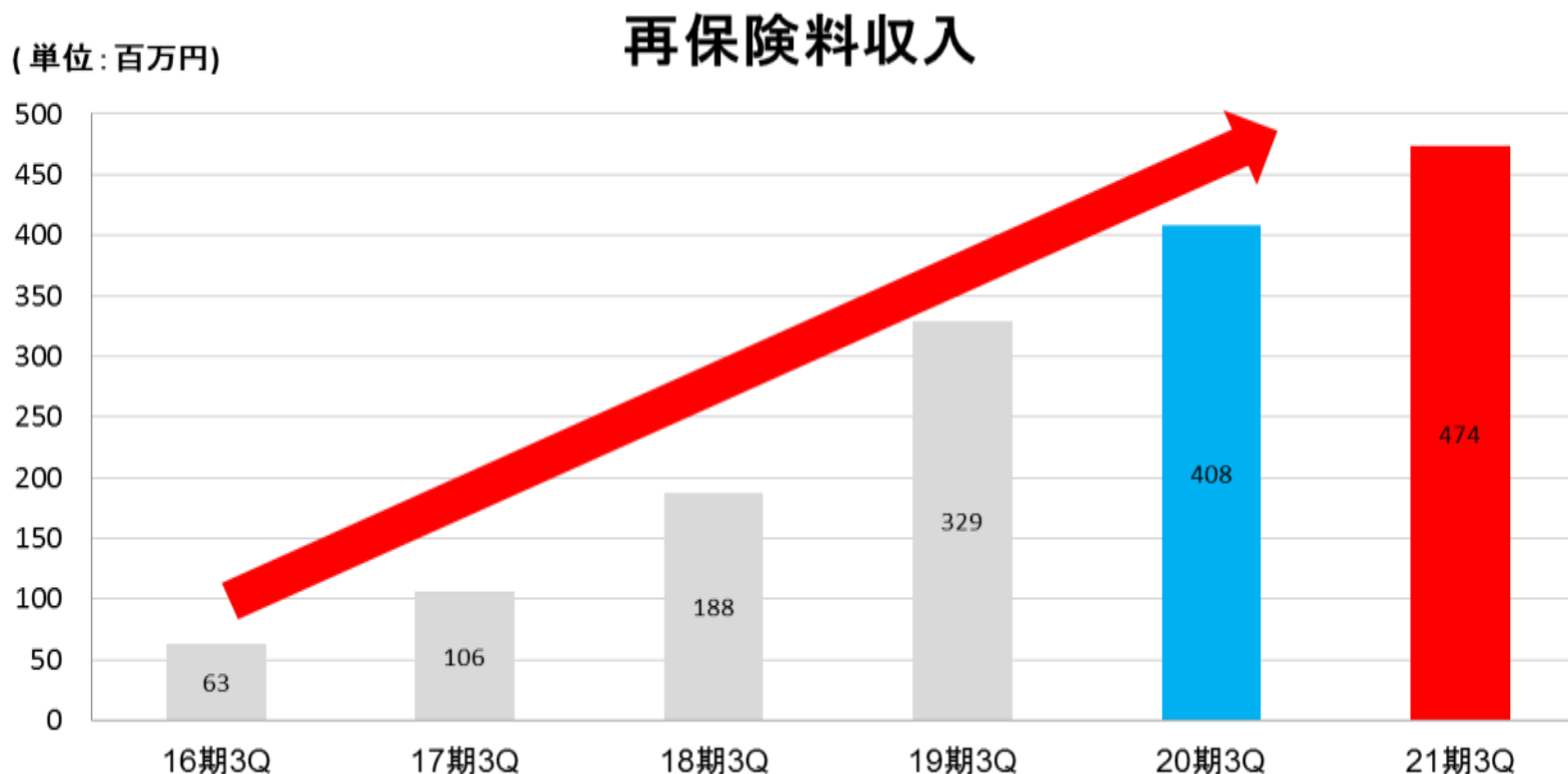
保有契約件数は順調に増加し、前年同期比**4.3%増**



※ 保有契約件数の対象となるものは生命保険・医療保険等継続・更新されるものとし、短期傷害保険分(旅行保険等)については除いております。

再保険事業収入推移

再保険事業収入は引き続き伸張し、前年同期比**16.3%増**



10社(生命保険6社、損害保険2社、少額短期保険2社)の再保険引受

Ⅱ. 当社の戦略について

創立二十周年及び東証市場第二部への市場変更 そして、同市場第一部銘柄への指定

感謝

おかげさまでアドバンスクリエイトは、2015年10月4日に創立二十周年を迎えるとともに、同年10月16日をもって東京証券取引所市場第二部へ市場変更しました。そして、2016年7月22日には同市場第一部銘柄に指定されました。



当社の保険通販専門代理店としての変遷

ポスティング(1997年)



WEBマーケティング(現在)



保険通販専門代理店という一貫した軸

ロジスティクス



高い認知度



データベース



高い生産性



ダンベル型ビジネスモデル

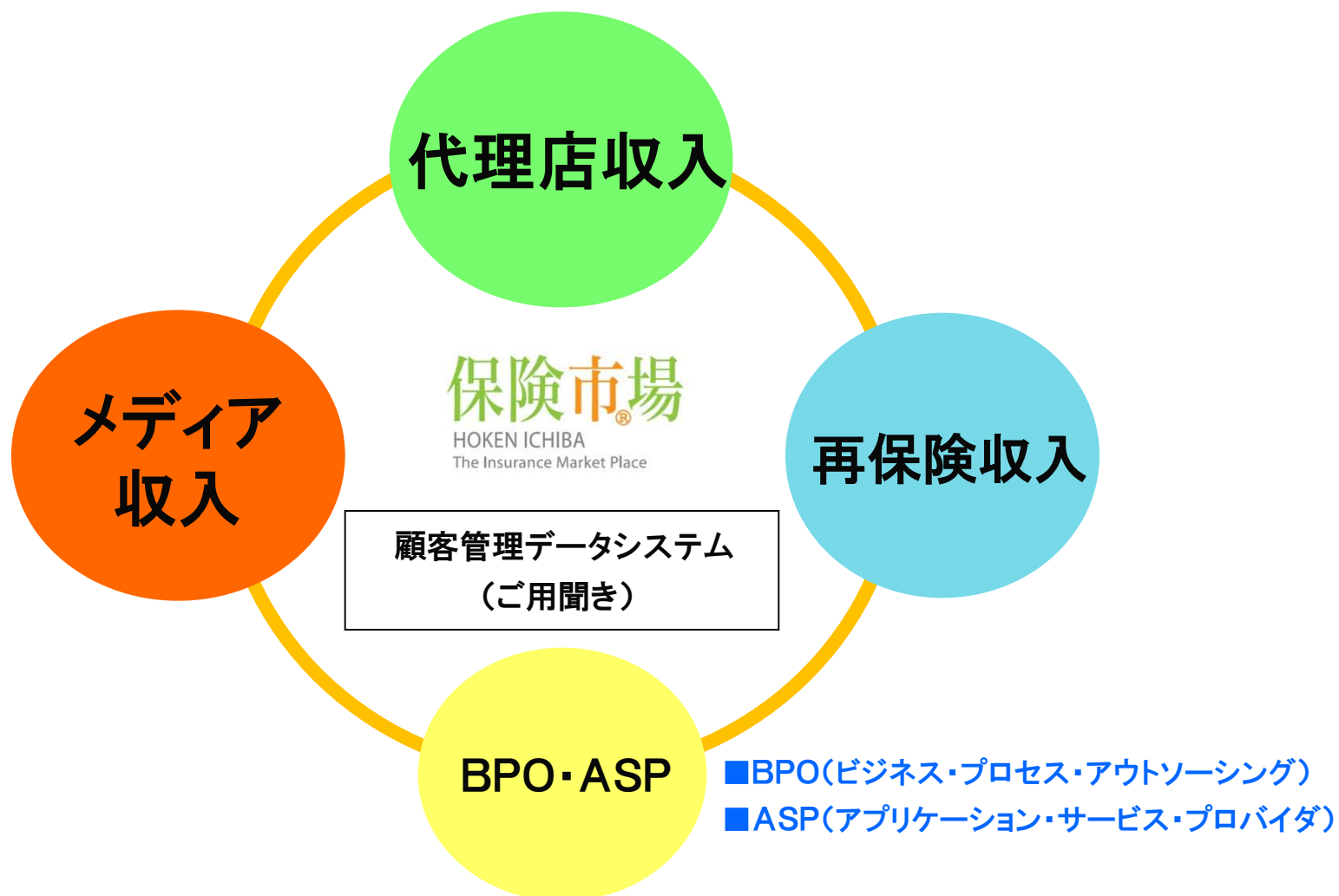
情報差益と死差益を収益源としたビジネスモデル



※生命保険には、利差益・費差益・死差益の3つの利源があります。そのうち死差益とは、想定した死亡率と実際の死亡率の差によって発生する利益のことを指します。

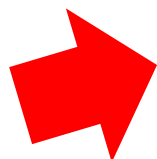
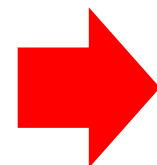
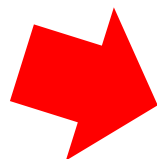
収益のポートフォリオ

保険に関するあらゆる収益機会へのアプローチ



チャネルのポートフォリオ

WEBで集客し、あらゆる販売チャネルでアプローチ



保険市場

HOKEN ICHIBA
The Insurance Market Place



ネット完結

通信販売

対面販売

協業

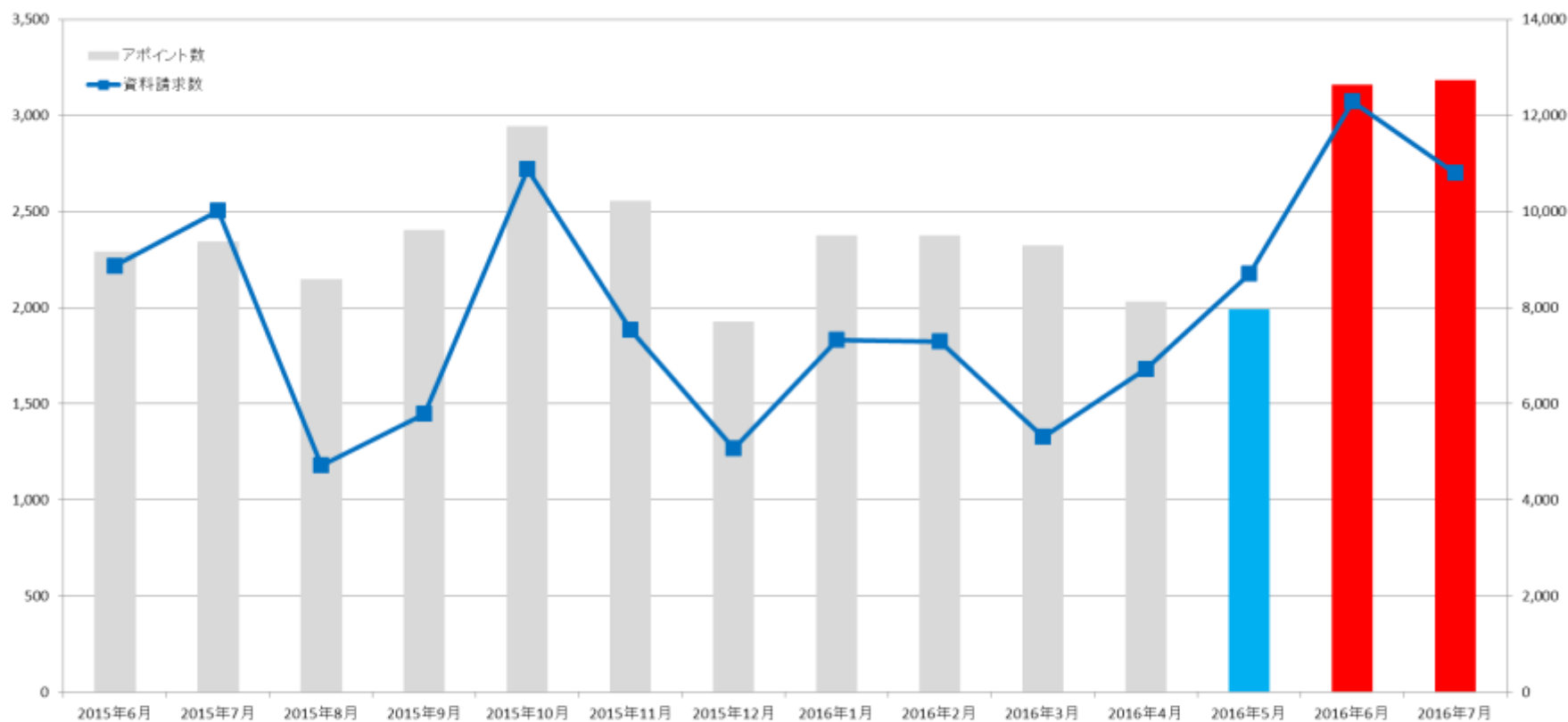
WEBマーケティング

保険業法改正後、変化に対応すべくマーケティング手法を見直したことにより資料請求数・アポイント数※が劇的に増加

※アポイント数とは、Webから対面販売チャネルに誘導した商談数となります。(対面拠点で獲得したアポイントは含んでおりません。)

アポイント数(件)

資料請求数(件)



対面販売チャネル

事業再編の発展型



千里中央
サテライトプラザ

千里中央
コンサルティングプラザ

千里中央サテライトプラザの統合
(2015年11月)



梅田阪急コンサルティングプラザ
移転 リニューアルオープン

(2016年1月)

投資戦略

ROI(投資対効果)の極大化を図る

◆IT・システム投資

- システム投資の継続・強化
- 『IT』から『AI』へ
→AIと人材の相乗効果により、
より高い次元でのセキュリティと
環境変化へのフレキシブルな対応

◆人材投資

- 採用活動の強化
- 積極的な人材投資
- 福利厚生制度の充実



管理体制の強化

従前より整備を行ってきた管理体制を強化・継続

◆改正保険業法への対応

事前準備に注力した結果、平成28年5月29日に施行された後も支障なくスムーズに対応

改正保険業法に対応したシステム開発及び各種研修を継続的に実施

◆ガバナンス体制・コンプライアンス体制

平成27年12月の株主総会にて社外取締役を2名体制に増員
各種特設委員会の運営

(ガバナンス委員会、コンプライアンス委員会、社内プロジェクトチーム 等)
コンプライアンス研修の実施・自社法務部門による牽制

◆情報セキュリティ

個人情報保護体制の構築・情報セキュリティ監査の実施
担当部署による有人監査体制の確立

◆提携先代理店の個人情報管理体制の確認

提携先の管理体制水準の向上を目的とした監査の実施

改正保険業法対応

改正保険業法対応は今後も継続・改善

**意向把握義務
情報提供義務**



顧客管理システムによる対応及び
ハガキ・電話によるモニタリングの
実施

体制整備義務



募集ルールの教育・指導及び
お客様の声を起点とした募集品質
向上サイクルの確立

株主の状況

【平成28年3月31日現在】 株主数 8,570名

■ 上位10名

株主名	所有株数	持ち株比率(%)
有限会社濱田ホールディングス	2,206,200	20.05
濱田 佳治	759,400	6.90
メットライフ生命保険株式会社	549,600	4.99
濱田 亜季子	472,200	4.29
住友生命保険相互会社	461,900	4.19
富国生命保険相互会社	450,000	4.09
太陽生命保険株式会社	365,500	3.32
AIG富士生命保険株式会社	273,000	2.48
三井住友海上火災保険株式会社	249,400	2.26
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	222,900	2.02

【株主還元】

配当については、第2四半期・期末ともに1株当たり22円50銭、年間合計1株当たり45円00銭の配当を実施予定です。

決算情報ハイライト

(単位: 百万円)

連結	17期 通期実績	18期 通期実績	19期 通期実績	20期 通期実績	21期 通期予想	前期比
売上高	7,054	7,625	7,462	7,274	7,675	5.5%
営業利益	1,087	1,295	1,131	1,153	1,240	7.5%
経常利益	1,052	1,258	1,107	1,143	1,200	4.9%
当期純利益	569	648	655	644	710	10.2%
売上高経常利益率	14.9%	16.5%	14.8%	15.7%	15.6%	
ROE	14.8%	16.2%	15.6%	14.1%	15.2%	

【通期業績予想について】

平成28年7月15日に開示しております「平成28年9月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」において、平成28年5月9日に発表いたしました公表予想値の修正を行っております。

目標とする経営指標

ROE	20%以上
売上高経常利益率	20%以上
配当性向	50%以上
自己資本比率	80%以上



お問合せ先

管理部

大原 勲

TEL

06-6204-1193(代表)

メールアドレス

acir@advancecreate.co.jp

URL

<https://www.advancecreate.co.jp/>